受付番号	2026-4		
許可番号	大歯医倫　第 111449 号		
研究課題名	内科外来患者でのオーラルフレイルスクリーニング質問票(Oral frailty 20-item Checklist : OF-20)による口腔機能評価の有用性の検討		
研究責任者	楠 博	申請者	楠 博
研究終了日	2028 年 3 月 31 日		
所属	内科学講座	所属	内科学講座
職名	准教授	職名	准教授
申請の概要			

高齢者の口腔機能低下(オーラルフレイル)は全身にも悪影響を及ぼすことが近年注目されており、全身のフレイルや加齢に伴う筋肉減少症(サルコペニア)とも関連していることが知られている。

オーラルフレイル OF-20 質問票は、2024 年に日本老年医学会、日本老年歯科医学会、日本サルコペニア・フレイル学会が発表した「オーラルフレイルに関する 3 学会合同ステートメント」で定められた質問票である Oral frailty 5-item Checklist : OF-5 と同じく、自己評価によるスクリーニングツールだが、質問数を 5 から 20 に増やし、それぞれの質問内容が包含するオーラルフレイル起因要素数を設定、スコア化して、数値化解析と統計処理を可能としている。OF-20 の質問項目は、残存歯と咀嚼、機能、食べにくさと嚥下機能、滑舌・会話と社会交流、食事状況と食欲・体調、口腔乾燥感と口腔衛生の 5 領域から構成され、各項目の該当頻度が解析可能である。

本研究では一般内科外来(本学附属病院内科および国立循環器病研究センター 腎臓・高血圧内科)に通院する高齢者を対象とし、OF-20 のスコアと身長、体重などの身体指標や、血液データ、握力などの筋力に関連があるかを検討する。また、従来使用されている質問表(Oral Frailty Index-8: OFI-8、Oral frailty 5-item Checklist : OF-5)と比較し、相互の特徴や関連性を検討する。今後の医科歯科連携における有益な知見が得られることが期待される。